

# 質 問 書

2020 年 4 月 9 日

「アフリカ地域南アフリカ共和国及びガーナ国におけるデジタル技術の影響調査(QCBS)」

(公示日:2020 年 3 月 25 日/公示番号:20a00032)について、質問と回答は以下の通りです。

通 番 号	当該頁項目	質問	回答
1	企画競争説明書 P12、5. 実施方針及び留意 事項	「デジタル技術の影響」を検討する上で、デジタル技術の業務従事者にどのような専門性を期待されているか、具体的なご説明をお願いしますでしょうか。本件の主な調査項目は、「バリューチェーンの各段階のどのような業務が、デジタル機器に代替されるか」、「そのデジタル機器の価格はいくらか」であると理解しております。	デジタル技術の影響については、IOT や AI が発達することにより、機械が人の業務を代替し、結果として人の雇用が減少することが予測されています。本調査では、調査対象国において、雇用が代替される時期と深刻さを、機械のコストと人件費を比較することにより、おおまかに予測することを目指しています。 このため、例えば縫製業では、企画、材料調達、製造、輸送、販売というバリューチェーンの中で、調査対象企業の活用しうるデジタル技術(例えば、企画におけるデザイン、製造における裁断・縫合、販売における顧客からのフィードバック等)を選定し、その導入にかかるコスト(機器の価格)の推移(汎用化による価格低下)を大まかに計算することを想定しています。 なお、「デジタル技術」の従事者には、調査対象業種・産品・サービスにおいて、上記のような“活用しうる技術”を分析・特定する業務を期待しています。
2	企画競争説明書 P18、1. (3)業務従事予定	(上記 1 に関連)デジタル技術の業務従事者の「類似業務経験の分野」として、「デジタル技術・イノベーションの社会への影響にかかる各種調査」と記載されています。デジタル技術	デジタル技術に関する専門的知見の有無は、基本的には同分野の調査実施経験の有無により示される(調査の実施を通じて専門的知見が培われる)と考えますので、双方を同等に重視し

	<p>者の経験、能力</p>	<p>に関する専門的知見の有無というよりも、このような調査を実施した経験の有無を、評価上重視されていますでしょうか。</p>	<p>ます。なお、企画競争説明書の別紙3「デジタル技術の影響に関する文献」に記載したとおり、昨今、多くの調査が実施されており、本調査もこれらの文献で議論されている“社会への影響”に焦点を当てています。このため、当該業務従事者の経験としては、デジタル技術の工学的・機械的な分野の業務よりも、利用面においてどのような可能性があるかを分析した調査業務を、より高く評価します。</p>
<p>3</p>	<p>第2章 特記仕様書案(p12) (3)複数業種における事例調査</p>	<p>サンプル調査の対象として①から⑤の特定の 5 業種が既に示されていますが、脚注 1 には「現地調査の対象として適当な業種」について提案を求め、とあります。対象業種の数と内容、ともに変更の可能性も含め、改めての提案が求められるという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>当機構としては、デジタル技術の影響を図るうえで①から⑤の業種（①縫製（Y シャツ）、②機械（自動車部品）、③運輸（宅配）、④IT（Web サイト構築）、⑤小売り（年商 1 億円程度））を想定しました。しかしながら、影響をより強く受けかつ雇用全体への影響も大きい業種があれば、その理由も含めてプロポーザルにて提案願います。また、企業の数についても 5 業種について、各業種 3 社と想定した調査期間となっています。これも勘案の上、提案者として現実的かつより効果的な調査方法、対象業種の数及び内容について、プロポーザルにて提案願います。</p>
<p>4</p>	<p>第2章 特記仕様書案(p13) (5)将来的な影響の予測</p>	<p>本節で、「上記製品・サービスのバリューチェーンの各段階において、業務がデジタル技術によって代替される可能性とその時期・・を予測する」との記載があります。ここでいう「バリューチェーン（VC）の各段階」の意味ですが、1) 選択された製品・サービスのVCのすべての段階を指すのでしょうか（例えば、ある業種の製品のVCに素材生産、調達、製造、流通、販売の5段階があれば、5つ全てについて予測が求められるのでしょうか）。あるいは、2) 選択された製品・サービスのVCの中で、対象となる段階を特定したうえで予測するのでしょうか。予測の対象を確認させて頂けると幸いです。</p>	<p>“バリューチェーンの各段階”とは、サンプル調査の対象企業が、デジタル技術を活用できると考えている段階（或いはその中の特定の業務）を指します。このため、ご質問の回答としては、「2）選択された製品・サービスの VC の中で、対象となる段階を特定したうえで予測する」ことを想定しています。</p>

5	<p>第2章 特記仕様書案(p.21)</p> <p>5. 見積書作成に係る留意事項</p>	<p>貴構 HP にて、2020 年 4 月更新の経理処理ガイドライン(QCBS 方式対応版)が公開されていますが、「2020 年 4 月 1 日以降に公示する案件に適用予定」とありますので、本案件の見積に関しては2019 年 4 月版に従うという理解でよろしいでしょうか。念のため、ご教示くださると幸いです。</p>	<p>ご指摘の通り、本件は 3/25 日公示になりますので 2019 年度版で作成下さい。</p>
6	<p>第2章 特記仕様書案(p.22)</p> <p>5. 見積書作成に係る留意事項</p> <p>(6) 航空賃</p>	<p>当該頁に「参考まで、当機構の標準渡航経路(キャリア)を以下のとおり提示します」との記載がございますが、本案件の渡航経路・時期等に関して、新型コロナウイルスによる影響が考えられます。例えば、安全上最適と考えられる経路が割高となる場合も想定しております。また、現在エミレーツ航空が運航停止中であり、航空賃の正確な見積そのものが難しくなっている状況です。</p> <p>つきましては、見積り作成の際に入手可能な積算根拠を使用し、契約締結時には状況に応じて費用について協議させていただくことは可能でしょうか。QCBS 方式につき、このような契約後の柔軟性の担保が難しい場合は、見積方法・方針を含めて、ご教示いただけると幸いです。</p>	<p>現在の状況に鑑み、航空賃の見積書作成にあたっては、当機構の標準渡航経路(キャリア)に基づいて作成願います。その上で、実際の費用につきましては、契約交渉時に協議させていただきます。</p>
7	<p>企画競争説明書 P13、6. 業務の内容 (13)</p>	<p>「調査対象各国における対象業種の雇用数及び付加価値創出額を、経済成長の低・高シナリオに基づいて 2030 年、2040 年、2050 年において概算する」と記載されています。これらの雇用数及び付加価値創出額は、厳密な経済学のモデル(需要関数など)を用いて算出することまでは求められていないと理解してよろしいでしょうか。もし特定の手法やモデル等を想定されているものがありましたら、ご教示下さい。</p>	<p>雇用数及び付加価値創出額の算出は、厳密な経済学のモデルを用いて算出することまでは求めていません。また、特定の手法やモデルを指定するものではありません。</p>

8	<p>企画競争説明書 P13、6. 業務の内容 (13)</p> <p>企画競争説明書 P17、別紙1 ファイナルレポート目次案</p>	<p>「調査対象各国における対象業種の雇用数及び付加価値創出額を、経済成長の低・高シナリオに基づいて 2030 年、2040 年、2050 年において概算する」については、ファイナルレポートのどの箇所に記載されることを想定されていますでしょうか。Chapter 3 の 3-3「Predictions of impact of digital technologies in the countries」と推察しております。</p>	<p>(13)に記載した業務は、(12)の「対象業種の業務の一部が、デジタル技術によって代替される可能性とその時期を予測し、雇用における影響を分析する」業務を踏まえて行うことを想定しています。このため、ファイナルレポートの Chapter 5 の 5-3「Simulation of timing for replacing labour by machine」に記載することを想定しています。</p>
9	<p>第1章 企画競争の手続き</p> <p>4. 窓口</p>	<p>緊急事態宣言の発令後、プロポーザルの窓口への持参を含めた提出方法・提出期限等に関して、変更が加えられる予定はありますか。</p>	<p>本案件のプロポーザルの提出期限は4月24日(金)に延期になりました。</p> <p>提出方法については現在調整中です。</p>
10	<p>第2章 特記仕様書案(p13)</p> <p>(4)現地調査の具体的項目と手法</p>	<p>「③デジタル技術革新の影響について、それぞれの事業にとって・調査する」とあります。ここでいう「それぞれの事業」とは調査対象「産業」全体ではなく調査対象企業の「事業」単体への影響であり、またここで踏まえるべき「バリューチェーン」とは、2020年4月6日付の質問回答4と同様、対象企業が影響を感じる特定の段階(業務)を意味するという理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>(4)の③の調査は、調査対象企業の事業への影響を確認するものであり、バリューチェーンも対象企業が影響を感じる特定の段階(業務)との理解で結構です。</p> <p>ただし、(5)の将来的な影響の予測については、可能な限り「産業」全体へ敷衍した考察を期待しています。</p>
11	<p>第2章 特記仕様書案(p13)</p> <p>6. 業務の内容 (3)</p>	<p>「調査対象産業のバリューチェーン(企画、設計、製造、流通、販売)を想定して、各段階における付加価値創造の概要調査の計画を策定する」とあり、この計画に沿い、次頁(8)で「付加価値創造の概要を把握する」と理解しています。この「概要調査」の目的と想定内容、本業務全体における位置づけ、「付加価値創造の概要」の意味が明確となるよう、追加的なご説明をお願いできますでしょうか。また、ここでの「調査対象産業のバリューチェーン(VC)の各段階」とは一企業の枠を超えた対象産業全体のVCの全段階を意味し、調査手段としては統計データなど二次情報の収集と分析を想定された</p>	<p>「付加価値創造の概要調査」は、調査対象産業の各段階の生産活動全般の状況について、GDP に占める生産額、企業数等の定量的なデータを把握するとともに、両国の産業の特徴や他の産業との産業連関などを分析することを想定しています。このような調査の結果を踏まえて、GDP の変化(2030年、2040年、2050年における低・高シナリオ)を想定した場合に、調査対象産業の各段階の変化(成長)及びそれに関連した雇用数の変化を概算することを期待しています。併せて、雇用数の概算にあたってはデジタル技術の及ぼす影響も考慮します。</p> <p>このため、ここでの「調査対象産業のバリューチェーン(VC)の各</p>

		<p>ものでしょうか。あるいは、サンプル調査対象企業のVC上の特定の段階(業務)を意味し、情報入手の主要手段として企業訪問(質問票)を想定されたものでしょうか。</p>	<p>段階」とは、対象産業全体の VC の全段階を意味し、統計データ等、収集された二次情報に基づく分析と考えています。ただし、上記調査の内容については、経済分析の専門家の知見を踏まえて、実施可能な具体的内容をプロポーザルに記載してください。</p>
12	<p>第2章 特記仕様書案 5. 実施方針及び留意事項 6. 業務の内容</p>	<p>全体を通じて「(調査対象)産業」と「(調査対象)業種」という2つの用語が使用されていますが、両者が同義ではなく、定義に区分があるようでしたら、確認させていただけますでしょうか。</p>	<p>原則として、産業の中に個別の業種(縫製、機械、運輸、IT、小売り)が含まれるとの理解のもとに、業務内容を記載しています。</p>

以上